

一般質問

◆今後の地域における
交通手段について

質問 マイルートガイドをさらに普及させるために気軽に相談できる窓口を市役所に設けられないか伺う。

答弁 利用者の増加につながる施策であれば問題点を分析しながら実施していく。

質問 循環バスの停留所を市役所に置くことは可能か伺う。

答弁 地域公共交通活性化協議会の中で議論していきたい。

◆高齢者世帯の支援の
取組について

質問 新潟市が行っているような学生によるごみ出しの支援制度を本市でも活用できないか伺う。

答弁 ごみ出し支援は、地域コミュニティでの助け合いの中で実施できるのではないかと考える。議員が紹介されたことについても参考にしたい。

◆ふるさとを離れても
「帰ってきたい」と思える
まちづくりについて

質問 奨学金制度に対する評価や要望など、奨学金利用者の声を市広報やホームページに掲載することはできないか伺う。

答弁 奨学金を貸し付ける場合と返還助成をする場合の両方で声を拾い集めながら、制度周知の際に利用希望者に伝えることを検討する。

質問 ふるさと輝き基金の一部を利用し、伝統工芸や農業などを若い人たちが学ぶ場所を設立できないか伺う。

答弁 専門的な知識を得る場が必要であると強く思っている。

可能性についてしっかり検討していく。



さとう あいこ
佐藤 愛子 議員

◆湯沢生涯学習センター等跡地の
活用について

質問 複合公共施設及び跡地活用については、ただ商店街を回遊するだけではなく、物を買ってもらい経済を上げることが必要と思うが、市長の見解を伺う。

答弁 消費が生まれる様々な地域経済が回る仕組みを構築するということは大切であり、検証し様々なイベント等効果のあるものを組み合わせていくような手法で対応したいと考えている。

◆空家等対策事業について

質問 本市の空き家件数の現状と山田地区の空き家状況と対策について伺う。

答弁 本市の空き家件数は、11月末現在で1837件、各地域の内訳は、湯沢地域が、1073件、稲川地域が246件、雄勝地域が436件、皆瀬地域が82件となっている。山田地区は127件で全体の6・9%を占めており、所有者から相談があった場合は所有者の意向に沿った場合は売却や利活用など関連制度等の利用を促している。

質問 人口減少社会ですであ

る空き家を有効活用する仕組みができれば首都圏在住の方が帰ってきた場合の受け皿になるのではないかと思うが所見を伺う。

答弁 体験移住ということで空き家を利活用することについては、所有者の同意が得られれば、やってみる価値はあると考えている。

◆山田地区の
学校再編計画について

質問 山田中学校統合による乗車対象行政区のスクールバスの通学支援について伺う。

答弁 集落で1区から3区まで行政区が分かれているところについては、配慮すべき個別の事情があるという判断で、全て乗車していただく方向で考えている。



いし かわ りゅういち
石川 隆一 議員

